

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月22日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	郡山市	代表者名	品川 万里		
担当者部署	産業観光部	連絡先電話番号	024-924-2251		
担当者役職	主査	担当者氏名	二瓶 達也	連絡先E-mail	
住所	9638601 福島県郡山市朝日1丁目23番7号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	9/15（木）にDXに取り組む事業者（郡山市においてDXに関する支援を決定した事業者）、その支援者（支援機関、サポーター企業、DXに関する専門家）が集まり、DXを推進した先にある郡山市の未来像とともに描き、そこからバックキャストで現状の課題の洗い出しと課題解決のために参加者一人一人ができることを考えるとともに、参加事業者の将来のビジョンを共有し、アドバイスや応援するワークショップをリアルで開催した（森戸講師は講演者・ファシリテーター）。参加者（採択者）から概ね満足したアンケート結果（「とても参考になった」「参考になった」）が得られた。 ・昨年度から実施する中小企業者を対象としたDX支援事業「こおりやまDXプラットフォーム」の採択事業者（予定者含）
アドバイザーへの要望事項	なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年8月31日	事前打合せ(実地)	有	令和4年8月24日	228
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年9月15日	支援・助言（実地）	14時00分	17時00分	
				活動時間（分）	180
3-2. 派遣場所	会場名	セルフミーティングルーム虎丸	最寄駅	郡山駅	
	所在地	福島県郡山市虎丸町15-4	最寄駅からの交通手段	バス又はタクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 経営者、支援機関、行政	人数 21人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） コロナ禍における業態変化・デジタル化・DX化を目指す事業者が増えてきているが、事業承継・引継ぎ、雇用の維持等、事業継続上必要な業務に時間を割かれ、デジタル化・DX化などへの取組みに二の足を踏む事業者が多い。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	中小企業等への啓発により、アフターコロナを見据えた業態変化、デジタル化・DXに取り組む中小企業等が増えること。特に、昨年度から実施する中小企業等を対象としたDX支援事業「こおりやまDXプラットフォーム」についてもアドバイスいただくことにより、採択後の事業拡大、事業PR、地域経済への波及等についてもアドバイスいただき、DX推進を支援すること。（本事業の今年度エントリー事業者数（予定含む）：10社（目標：10社））	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	急激なデジタルシフトに対応して地域課題解決策を新規ビジネスにするというテーマから、地場人材の創造力開発と企業のイノベーション構築を並行して進めるに当たり、「デザイン思考」「リーン・スタートアップ」「アジャイル」「既存と新規の共存」の切り口から、中小企業等がDXに取り組むことの必要性・重要性について理解を深めた。また、中小企業等だけではなく、支援者（中小企業等を取り巻く行政・支援機関・各専門家）も自分事として考えることが必須であること、新しい	

	<p>森戸講師の講演・支援機関のサポートが、採択者にとって必要なことであると再認識し、新しいつながりの創造がDX推進後の幸福度の向上につながることを再認識した。</p>	
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>リアル開催(講演1時間程度、ワークショップ2時間程度)であり、エントリー事業者と支援者が4グループに分かれ(各グループ5・6名)、講演内容をもとに自由闊達な意見交換・交流を行うことができ、双方の参加者から参考になる意見を多く聴けたとの声が多かった。なお、ワークショップでは、各グループでテーマを設定し、現状の課題の洗い出しとその課題解決の当たって参加者一人一人が何ができるかについて考える機会となった。また、エントリー事業者にとっては、自らの事業内容について各支援者に対して、事業概要を発表・質疑応答を通して、現状の事業内容(想定含む。)のブラッシュアップにつながるよい機会となるとともに、各支援者とのマッチングの場となった。</p>	
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。</p>	<p>⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>森戸講師には、引き続き本事業に対するアドバイスや専門家とのマッチングなど支援いただきながら、採択者へのデジタル化・DXの取り組みについて具体的に支援していきたい。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>参加した採択者7名のうちアンケート回答者3名(とても参考になった2名、参考になった1名) 採択者としては、森戸講師だけではなく、各支援者から様々な助言受け、また、情報交換する機会を得られたことで、自らの事業内容について多角的に捉えなおすとても有益な機会となった。</p>	
<p>5-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい</p>	<p>②次年度に予算化を図り推進する</p>
<p>事業の最終的な目指す姿</p>	<p>中小企業等への啓発により、アフターコロナを見据えた業態変化、デジタル化・DX化に取り組む中小企業等が増えること。また、デジタル化・DXにより販路が広がり、経営が改善されるとともに円滑な事業承継が図られるなど地域経済に資する成果を生むこと。</p>	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



